

地域スポーツ人材の派遣

1 趣 旨

体育・スポーツや運動遊びが本来もっている楽しさを体験し、スポーツに親しむきっかけとして、小・中・高等学校における体育的な活動場面において、地域のスポーツ指導者を派遣し児童生徒に実技指導や運動遊び等の支援を行うことで、望ましい運動習慣の形成、体力向上及び教員の指導力の向上に資する。

2 実施状況

平成21年度から、国の委託事業として実施している。

3 県教委の取組

(1) 小学校への派遣

年間を前後期に区分し、前期は社会人のスポーツ人材を体育授業へ派遣している。水泳指導のニーズが高い。

後期では、県内の大学と連携し、将来教員をめざす教育学部を中心とした学生を体育授業に派遣している。陸上運動や器械運動の指導を行うケースが多い。



小学校の体育授業における大学生の指導の様子



中学校保健体育科柔道授業での外部指導者の指導の様子

【H24 派遣人数[延べ】

社会人 17[81]名、大学生 30[82]名

【H24 実施内容と学校数】

水泳 61 校、陸上運動 6 校、器械運動 5 校、運動あそび 1 校

(2) 中学校への派遣

本年度からの新中学校学習指導要領が全面実施となり、保健体育科における武道・ダンスの必修化を踏まえ、武道関係団体と協議の上、地域の武道各種目の有段者対象とした「指導協力者リスト」を昨年に引き続き作成した。ダンスについては学校の要請に応じ、各ダンス関係団体から派遣できる体制を整えた。

武道必修化となった本年度は、下表（4）のように中学校の授業への地域スポーツ人材の要請が増加した。

また、放課後の運動部活動への派遣も行っている。

【H24指導協力者登録数（武道授業）】柔道86名、剣道18名、相撲7名、なぎなた10名、弓道6名、空手道11名、少林寺拳法7名、合気道13名、銃剣道6名（合計164名）

【H24 実施内容と学校数】柔道 19 校、剣道 2 校、相撲 2 校、なぎなた 2 校、ダンス 2 校

(3) 高等学校への派遣

競技力の向上や生徒の自主的な部活動運営を支える役目として放課後の運動部活動への派遣を行っている。

部活動については、山口国体の開催を契機にスポーツ人材（外部指導者）へのニーズが高まってきており、今後一層の運動部活動の充実のため、派遣人数等の維持と指導者の資質向上を図っていかねばならない。